

Course number		U-LAS05 10010 LJ74					
Course title (and course title in English)		都市空間論 Theory of Urban Space and Architecture		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, NAKAJIMA SETSUKO	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Regions and Cultures(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Year/semesters		2025・First semester		Number of credits		2	
Days and periods		Wed.1		Target year		All students	
Eligible students		For all majors					
[Overview and purpose of the course]							
人間が造ってきた都市空間の特徴を歴史的にたどるとともに、その上にあらわれる建築と人々のいとなみについて講義する。とりわけわが国の都市空間と建築について、その形態的特徴と成立過程を社会・文化的背景と関連付けながら詳細に解説する。また、こうした歴史的環境がいかに維持、保存されてきたか、あるいは記録、検証されてきたかに関して、制度の推移や時代的傾向、思想、技術的進歩などから概観するとともに、現状の課題とその将来像について検討する。							
[Course objectives]							
都市と建築に関する基礎的知識を習得することによって、現在の都市空間への理解を深めることが可能となる。							
[Course schedule and contents)]							
以下の内容について講義する。講義順については前後する場合もある。写真や映像資料、図面、地図などを用いることで、視覚的、感覚的な理解を目指す。以下の内容について講義するが、順序については前後することもある。							
1 都市のコスモロジー①：古代都市の理念 2 都市のコスモロジー②：ルネサンス都市・理想都市・バロック都市 3 日本の都市空間①：古代都市から中世都市へ 4 日本の都市空間②：近世城下町と地方都市 5 都市の建築①：町屋の発生と展開 6 都市の建築②：都市のくらしと町屋 7 日本の都市空間③：近世都市から近代都市へ 8 都市の建築③：近代建築の登場 9 都市の建築④：町屋の近代化 10 日本の都市空間④：近代都市の拡大と郊外 11 都市の建築⑤：郊外住宅地と近代住宅 12 都市の建築⑥：近代建築の展開 13 歴史的環境の保存・活用①：文化財行政の歩み 14 歴史的環境の保存・活用②：民間の保存運動の展開と現在 15 フィードバック							
Continue to 都市空間論(2) ↓ ↓ ↓							

都市空間論(2)

[Course requirements]

文系・理系を問わず、都市や建築、あるいは歴史に興味がある学生に是非受講していただきたい。

[Evaluation methods and policy]

授業中に課す小レポート(20%)と、中間レポート(40%)期末のレポート(40%)によって評価する。その際、出席状況も考慮する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業で紹介する都市や建築を最低5か所以上、訪れていただきたい。講義や書物などではなく、実際に現地に出かけ、自身の目で見ることで、はじめて理解したことになると考える。

[Other information (office hours, etc.)]

歴史的環境の多様性とその背景にある文化を理解した上で、それらを尊重し、未来に伝えることの重要性を認識していただきたい。